

北九州市民の会ニュース



安倍「国葬」やめろ 全国で反対、抗議の声

小倉駅で街宣活動

9月27日(火)、安倍国葬の当日、同時に、有志が街宣活動に取り組みました。

今日は、国葬の開始時刻に合わせて小倉駅前でスタンディング。特段、ピラやスピーチは必要ないだろうと思って、それぞれのプラカードを持ってサイレントなアピール。

幾人か「あれはひどいよ。税金をあんなふうに使ったらだめよ」という通りがかりの女性や、「国葬は反対です」という高校生などが声をかけていました。新聞記者も毎日と西日本、二人ほど取材に来ていました。RKBも映像だけ撮っていたようですけど。ある記者「この時間、ここに来れば、何かやっているんじゃないだろうかと・・・」ここに来れば何かある・・・という場所になっているんですね。さて、これからは、国会開いて、この国葬問題や統一協会問題、東京五輪汚職、物価高と賃金、徹底追及してもらわなければなりません。

このことと一体となった今後の市民運動、労働運動が大切だと思います。

(竹内俊一氏 FB より)

国会前1万5000人

「国葬やめろ！」一北海道から沖縄まで全国各地で抗議の声があがるなか、岸田内閣は27日、安倍晋三元首相の「国葬」を強行しました。

午後2時に東京都千代田区の日本武道館で「国葬」が始まると同時に、国会前では市民が大行動をスタート。識者や市民運動家、日本共産党の志位和夫委員長はじめ立憲民主党、れいわ新選組、社民党の野党各党代表が演壇でスピーチしました。



「国葬」では、岸田文雄首相、菅義偉前首相が、安保法制や秘密保護法の強行など立憲主義破壊の安倍政治を礼賛しました。

(しんぶん赤旗より)

小倉駅前で「平和ネット」街宣活動



9月26日(月)、安倍国葬の前日、「平和をあきらめない北九州ネット」が安倍国葬反対の街宣活動に取り組みました。呼びかけには、約90名が参加し賑やかでした。チラシを配布し、署名活動もしました。次々にマイクを握ってのリレートークにも熱がこもっていました。リレートークには、飛び入りの市民2名が参加。国葬反対の広がりを感じました。

八幡西区革新懇が第 10 回総会を開催

3つの共同目標実現へ

9月24日(土)午後2時から、黒崎コムシティで八幡西区革新懇第10回総会が開かれました。コロナ禍でしたが21名の参加がありました。

総会の記念講演では、北九州革新懇代表世話人の三輪俊和さんに、「憲法九条を生かした日本の安全保障を考える」というテーマで、パワーポイントを使って縦横に語っていただきました。

後半の「総会」は、プログラム通りに順調に進行しました。来賓挨拶は、西区選出の共産党伊藤市議と永井市議のお二人。

総会議事(案)をそれぞれが提案し、最後に参加者全員の拍手で承認されました。

この後、「安倍元首相の『国葬』反対アピール」が読み上げられ、参加者全員で反対の意志を確認しました。今、



北九州革新懇代表世話人の三輪俊和さんの講演を聞く参加者の皆さん

革新懇「三つの共同目標」の実現が求められていることを改めて感じた記念講演と総会でした。

ご案内

公共施設マネジメント計画、立地適正化計画の対抗軸



講演

奈良女子大学
生活環境学部教授
中山 徹

- 1、小学校の統廃合か、少人数学級の導入か
- 2、公立保育所の廃止か、最低基準の改善か
- 3、コンパクトシティではなく、公共空間の充実、など

10月23日(日)
午後2時より

男女共同参画センター「ムーブ」
大セミナー室 (小倉北区大手町)

資料代 300円

北九州市は、人口減少の中、公共施設を削減・統合する「公共施設マネジメント実行計画」を2016年2月に策定し、モデルプロジェクトとして門司区役所、港湾庁舎、市民会館、図書館、生涯学習センターの5施設を1ヶ所に集約する門司港地域複合公共施設の建設をすすめています。

また、小中学校の統廃合、保育所の民間委託なども進めています。こうした計画のねらいをみんなで学習し、市民の声を活かした市政実現へ力をあわせましょう。第15回市民講座へご参加ください。

お願い 参加される方は、マスクを着用ください。



主催 平和とくらしを守る北九州市民の会
連絡先 北九州市小倉北区田町 13-21 ☎093-592-5000

第15回 市民講座

人口減少時代における公共施設整備、都市整備の基本的な考え方

どなたでも
参加できます

北九社保協通信

報告・資料集 2022年9月号
9月27日 事務局発行

「生保基準引き下げ違憲訴訟」北九州原告のつどい開催

福岡控訴審にむけ、3つの勝利判決を力に!

9月12日(月)に八幡東区のレインボープラザにて、生保基準引き下げ違憲訴訟を闘っている北九州の原告を励ますつどいが開催されました。当日は原告をはじめ、北九社保協会長の高木弁護士を中心とした弁護団、裁判を支援している生健会、北九社保協から総勢19名が参加しました。この「いのちのとりで裁判」ですがこの間、大阪・熊本・東京で勝利判決を勝ち取っていますが、この日は田嶋弁護士から3つの勝訴の概要説明をさらに高木弁護士から勝訴内容の違いをまとめた表でさらに分かりやすく解説してもらいました。この裁判で争点となっている「ゆがみ調整とデフレ調整」についてはそれぞれの裁判所で判断基準に差異があるものの、国が引き下げをおこなった経緯について判断の過程・手続きに過誤、欠落がある点や専門的知見による分析や基準部会での議論も経ていない点が勝訴に繋がったことがよくわかりました。その後、原告から多くの質問や意見が出され最後に「東京で勝利判決が出たことは今後の各地判決に影響を与える」という弁護団の言葉に勇気をもたると同時に今後の福岡での控訴審にむけ、元気の出るつどいとなりました。



「生保110番」に9件の相談。当日以外にも連日、相談が...

長引くコロナ禍に物価高騰が低年金高齢者の生活を直撃!



9月20日(火)に2ヶ月に1度、継続実施している「生活保護110番」を実施しました。マスクの取付はなかったものの、地域配布のチラシをみても相談が9件ありました。また、当日以外にも今回のチラシを見ての相談が連日、舞い込んでいます。内容も多岐にわたり「低年金の高齢タクシー運転手。コロナの影響で売り上げが上がらず収入減。生活ができない」「85歳の警備員。低年金のため仕事をしているが、身体がもう限界」という方々には生保申請のアドバイス。また、「障害を持つ高齢女性。少ない年金で何とか生活してきたが物価が上がり大変。病院にもかかりたいが医療費が出せない」という相談者には、対応した健和大手町病院のMSWが無料低額診療制度の活用をすすめ後日、申請へとつなげました。

コロナ電話相談会を実施します! 10月22日(土)10時~22時

(フリーダイヤル) 0120-157-930 全国どこからかいても無料

平和とくらしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町 13-21 田町ビル 3F

TEL 093-592-5000

fax 093-571-4346

http://siminnokai.sakura.ne.jp

e-mail:koe@siminnokai.com

